

平成30年度第1回公立大学法人熊本県立大学理事会 議事録

日時：平成30年6月28日（木）午後3時20分～午後3時50分

場所：熊本県立大学 本部棟2階大会議室

出席：

＜理事＞ 理事長 白石 隆
副理事長（学長） 半藤 英明
理事（事務局長） 田中 純二
理事（副学長） 堤 裕昭
理事 本松 賢

＜監事＞ 監事 河喜多 保典
監事 本田 悟士

＜事務局＞ 齊藤事務局次長、多田隈教務入試課長、西嶋学生支援課長、前田総務課長、
脇上企画調整室長、脇地域連携・研究推進センター事務長、
安達学術情報メディアセンター事務長、
八十川総務課総務班長、矢津田総務課財務班長、
善本総務課参事、木村企画調整室参事

I 開会（進行：事務局次長）

II 理事長あいさつ

III 議題（議長：白石理事長）

＜審議事項＞

1 平成29年度業務実績・第2期中期目標期間業務実績に係る自己点検・評価及び「平成29年度業務実績報告書」・「第2期中期目標期間業務実績報告書」について

事務局から、資料1に基づき、平成29年度業務実績に係る自己点検・評価について、全48項目中、A～Dの4段階評価でA評価が47項目であり、順調に実施できたと総括していること、また、第2期中期計画に係る業務実績の自己評価についても全65項目中、A～Dの4段階評価でA評価が63項目となり、こちらも順調に実施できたと総括していることを説明した。

また、6月末までに県の法人評価委員会に提出する業務実績報告書は、この自己点検・評価結果を基に作成するとの説明もあった。

審議の結果、案のとおり承認した。

2 平成29年度決算について

事務局から、資料2に基づき、平成29年度決算について、事業報告書、貸借対照表、損益計算書、キャッシュ・フロー計算書、行政サービス実施コスト計算書、利益の処分に関する書類（案）、決算報告書により説明があった。当期総利益は約1億9百万円で、災害復旧や震災に伴う就学支援について、国・県の補助金や交付金を相当程度確保できたこと、全学で経費節減に取り組んだこと等によるものであり、この利益については、法に基づき、教育研究等環境整備目的積立金への積み増しの承認を県に求めるとの説明がなされた。

続いて、河喜多監事から監査報告の説明があった。

審議の結果、案のとおり承認された。

<報告事項>

① 学長選考会議委員の選出について

事務局から、資料3に基づき、学長選考会議委員について、任期が平成30年3月末で満了したため、各審議機関（経営会議、教育研究会議）から3名ずつ委員が選出されたことについての報告があった。

② 熊本県立大学未来基金の平成29年度収支状況について

事務局から、資料4に基づき、熊本県立大学未来基金の平成29年度収支状況について、収入状況、支出状況の報告があった。

IV その他

- 次回理事会は、10月24日（木）の15時30分に開催する予定。

V 閉会